



いわきの子

岩城小学校
学校便り
第12号
R5.5.26
文責：佐藤

〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りをもち たくましく生き抜く 子どもの育成」

学校運営協議会



岩城小学校は、平成26年度の開校と同時に、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入し、「地域とともにある学校づくり」を推進しています。コミュニティ・スクールは、委員の皆様から学校運営に対する意見や評価をいただき、学校運営に反映させていく制度です。



今年度も年3回の協議会を開催する予定で、5月24日（水）に第1回目の学校運営協議会を行いました。初めに今年度の学校経営方針等について私から説明し、次に子どもたちの授業の様子を参観していただきました。最後に学校経営についてのご意見や参観しての感想などをいただきました。「子どもたちの元気な姿や落ち着いて学習している様子が見られてうれしかった。」「低学年がはきはきしていた。」「子ども同士で対話していたことに驚いた。」「ICTをよく活用できている。」「眼鏡をかけている子どもが多かったのは、ゲーム等の影響なのか。」「スマホ・ゲーム等の使用時間が問題でないか。」「学校教育活動、旧藩祭等の行事に保護者・地域住民も一つになって取り組んでいきたい。」・・・様々なことが話題となりました。

今後、11月の第2回目で中間評価、2月の第3回目で年度末の評価をしていただく予定です。

今年度の学校運営協議会委員は、会長：菅原**様、副会長：加賀谷**様、副会長：三浦**様、中村**様、佐々木**様、佐藤**様、伊藤**様、皆川**様、齋藤**様、小林***様、鈴木***様、三浦**様、柳田**様、船木**様、金森**様、臼井**様、前**隆様、山崎**様、渡會**様、須藤**様です。以上20名に、学校から校長、教頭、主任主査、教務主任の4名が参加して協議会を進めていくことになります。



読み聞かせスタート



5月24日（水）に、読み聞かせボランティアの方々による「岩城小学校読み聞かせ」がスタートしました。今回行ったのは4・5・6年生の3学年で、時間になると子どもたちはお話に引き込まれ、教室はシーンと静まりかえっていました。コロナ対策も緩和され、絵本を実物投影機で拡大する以外に子どもたちを集めて対面で行うなどと、内容が伝わりやすくなるようボランティアの方々には工夫をしてくださっていました。



今年度の読み聞かせボランティアは、茜屋***様、加藤***様、佐々木**様、佐々木**様、佐々木**様、佐々木**様、佐々木**様、佐藤**様、高橋***様、津島**様、藤原**様、吉尾**様の12名です。よろしくお願いたします。

田植え体験

5年生は、「岩城のよさを見つめ直そう～米作りや地域の産業を通して～」

というテーマに基づいて、総合的な学習の時間を中心にしながら、様々な教科と関連を図り学習していきます。

好天に恵まれた22日（月）には、体育館脇の田んぼに田植えを行いました。今年も折林ファーム様、JAしんせい様のご指導・ご協力をいただきました。ありがとうございました。



まず初めに、田植え機に乗せていただきました。今年はとても泥濘んで機械が動けなくなる事態が発生し、ショベルカーで引っぱってもらうというハプニングもありました。でも、それも楽しい思い出です。

次に、いよいよ泥の中に足を入れて手植えを体験しました。苗を片手に、列をそろえて土の中に植えていきました。泥に足を取られてバランスを崩したり、ひっくり返ったりして苦労しました。技術の進歩を感じたことでしょうか。この後の稲の成長が楽しみです。